

第50回滋賀県政世論調査単純集計結果<速報>について

担当：滋賀県 広報課 県民の声係
電話：077-528-3046

注：今回の数値は「速報値」であり、後日報告書により公表するものが確定値となります。
四捨五入の関係上各選択肢の百分率（％）の合計が100.0%にならない場合があります。

1. 調査のあらまし

調査対象：県内在住の満18歳以上の個人（選挙権年齢の引下げを受け、満18歳以上に拡大）
標本数：3,000人

調査時期：平成29年5月30日（火）～ 6月20日（火）

調査方法：郵送法・オンライン調査法の併用

調査項目：(1) 県政全体に関する満足度（企画調整課）

(2) 県の広報・広聴活動（広報課）

(3) 「びわ湖の日」について（環境政策課）

(4) 高齢期の生活・活動と介護について（医療福祉推進課）

2. 調査票回収結果について

有効回収数（有効回収率）：1,522人（50.7%） <H28 51.9%、1.2ポイント減>

※有効回収数（郵送+オンライン）に占めるネット回答の割合 12.5%

※回答者の属性 18～19歳が0.9%、20～34歳が14.2%、35～49歳が27.8%、

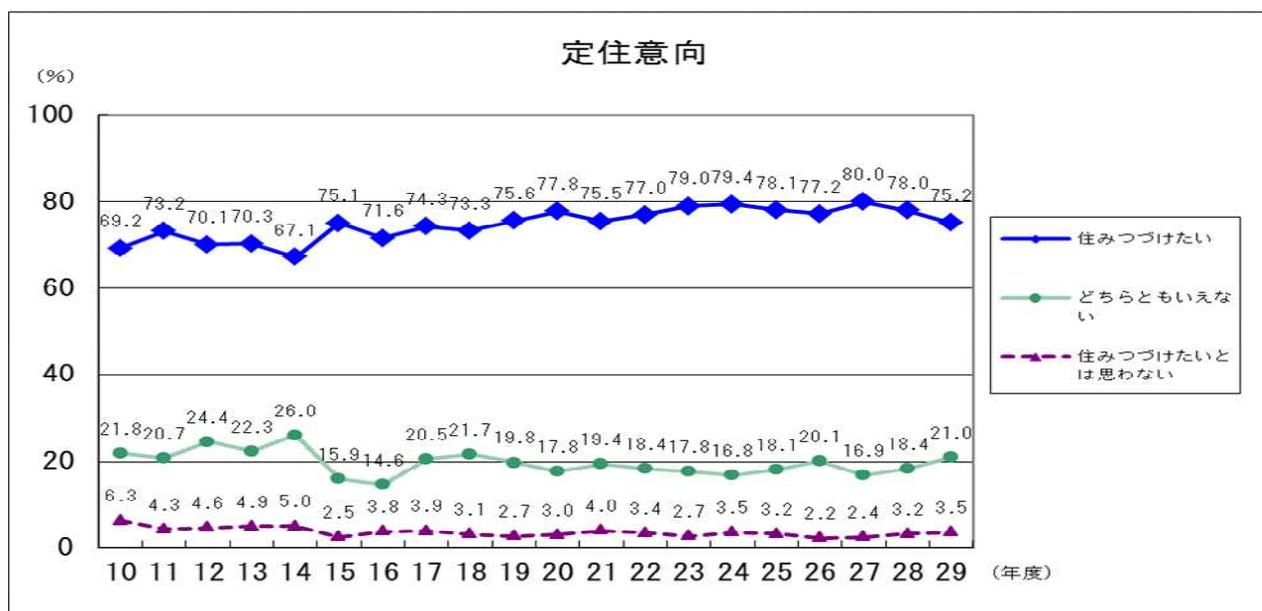
50～64歳が29.7%、65～74歳が21.5%、75歳以上が5.9%

（今年度より年齢区分を市場調査に使用される区分を基本に、より施策に反映しやすい区分に変更）

3. 主な集計結果について

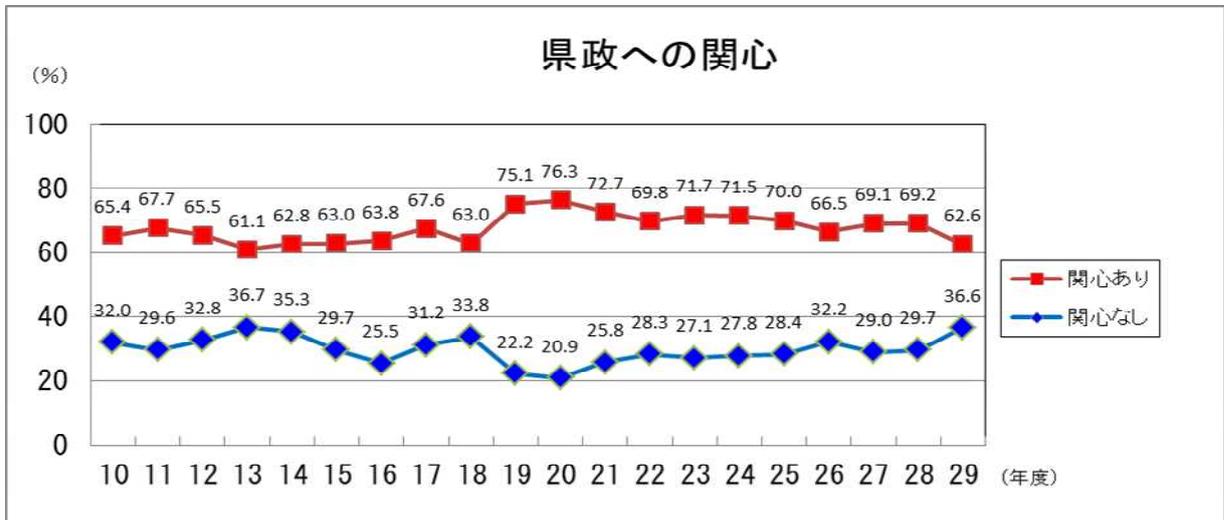
● 県政全体に関する満足度

○ 定住意向 「住みつけたい」と答えた人の割合 75.2% <H28 78.0%、2.8ポイント減>



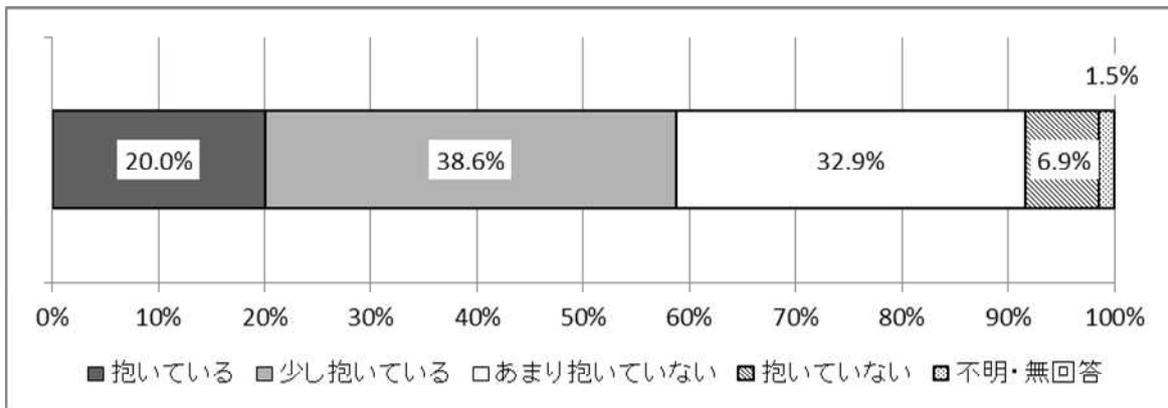
○ 県政への関心度

「関心あり」（「関心がある」と「まあまあ関心がある」の合計比率）と答えた人の割合 62.6%
 <H28 69.2%、6.6ポイント減>



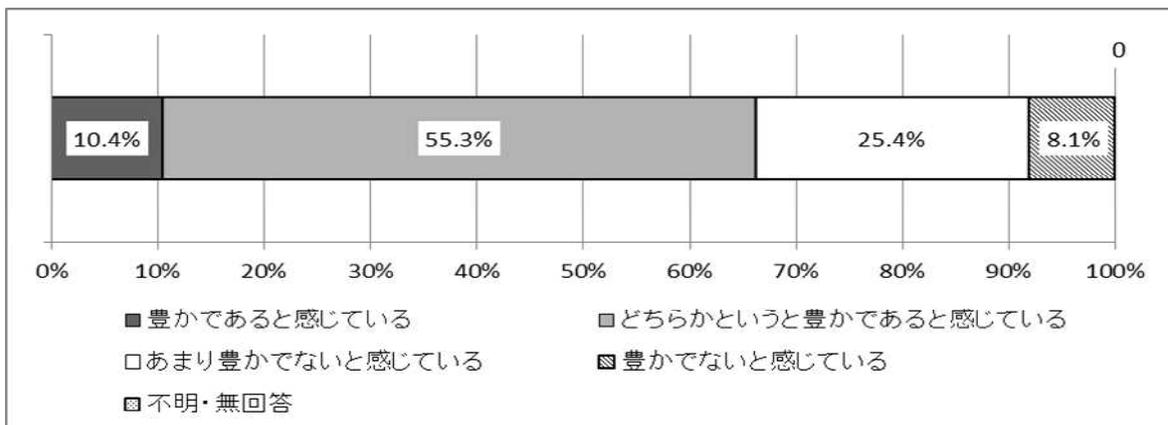
○ 将来に夢や希望を抱いているか

「抱いている」（「抱いている」と「少し抱いている」の合計比率）と答えた人の割合 58.7%
 <H28 59.7%、1.0ポイント減>



○ 「豊かさ」を実感できているか

「豊かである」（「豊かであると感じている」と「どちらかという豊かであると感じている」の合計比率）と答えた人の割合 65.7%
 <H28 61.4%、4.3ポイント増>



■ 県政に対する満足度について

※平成 28 年度調査とは選択肢の文言が異なります。

○ 満足度の高い分野（「満足」と「どちらかといえば満足」を答えた比率）

① ビワイチをはじめとする観光施策や首都圏での情報発信など滋賀の魅力の向上のための施策	30.1%
② 安全で安心して暮らすための自治会など住民が中心となった防災や防犯対策の推進	30.0%
③ 結婚・出産・子育てまでの切れ目のない支援や社会全体で子どもを安全・安心に生み育てることができる環境づくり	29.3%
④ 在来魚介類の回復や生態系の保全・再生など琵琶湖流域の保全・再生に向けた取組	28.9%
⑤ 琵琶湖の経験を活かした産学官民連携による滋賀の水環境ビジネスの推進	26.2%

(参考) H28

①身近なところで自然と触れ合える環境の整備	42.5%
②食の安全確保	37.8%
③美しい田園や緑豊かな森林の維持	34.1%
④道路や公園、下水道など社会資本の整備と計画的な保全管理	28.8%
⑤文化やスポーツを楽しめるまちづくり	27.9%

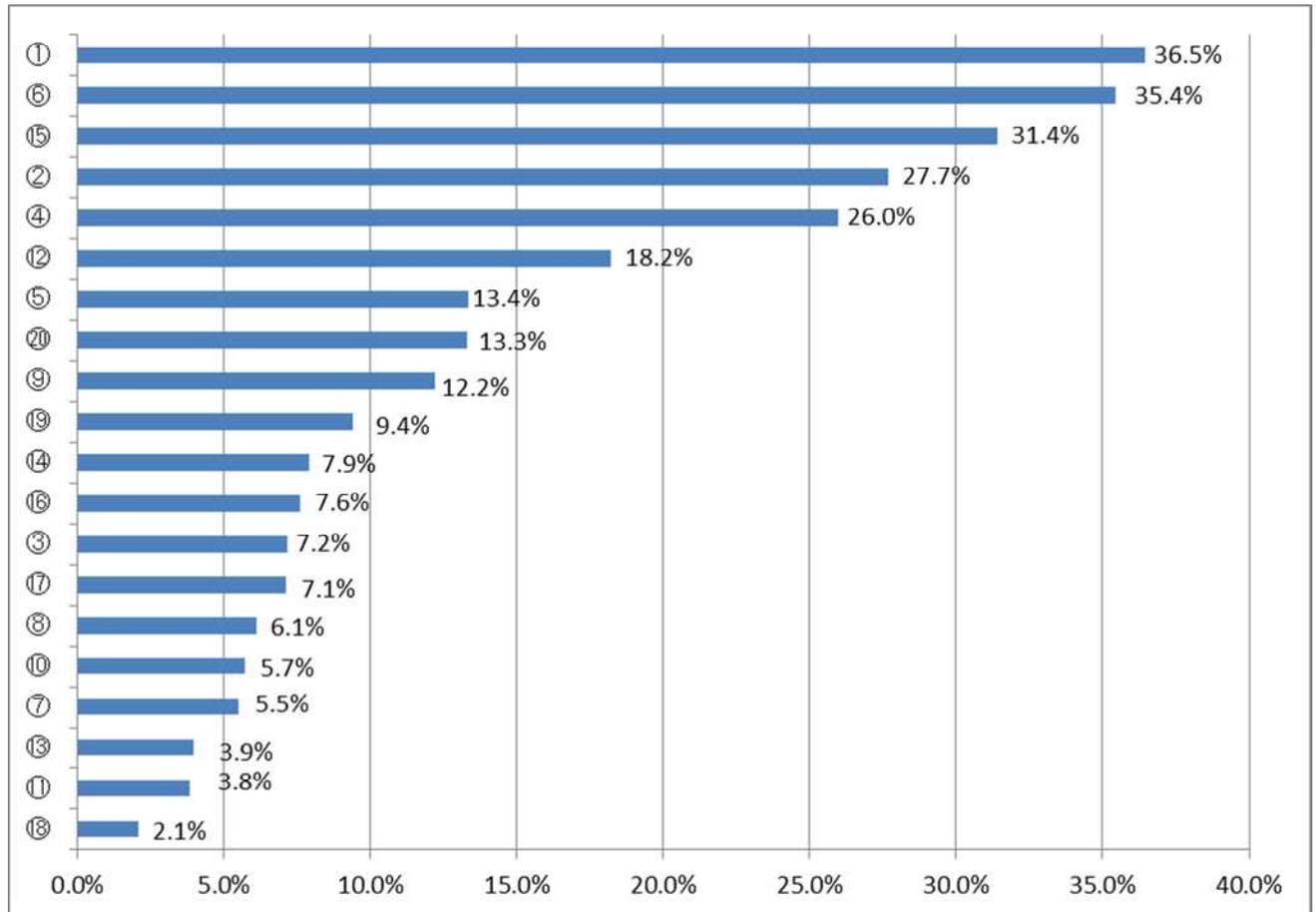
○ 不満度の高い分野（「不満」と「どちらかといえば不満」を答えた比率）

① 鉄道・バス等の利便性向上など公共交通を使いやすいまちづくり	53.9%
② 次世代の雇用につながる新たな産業の創出	33.1%
③ 若者、女性、中高年者、障害者が滋賀で働き、活躍できるための取組	32.6%
④ 地域・拠点間の連携確保や誰もが利用しやすい道路空間づくり	31.3%
⑤ 滋賀の産業を支える人材の育成や滋賀で働く優秀な人材確保の取組	30.5%

(参考) H28

①自転車歩行者道や身近な公共交通機関などの整備	50.5%
②地震や風雪水害、土砂災害に備えた施設の整備・保全	34.1%
③人やものが行き交う広域交通ネットワークの形成	32.8%
④在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	31.7%
⑤歴史や文化、自然などの地域資源を活かした観光の振興と滋賀のブランド力の向上	31.5%

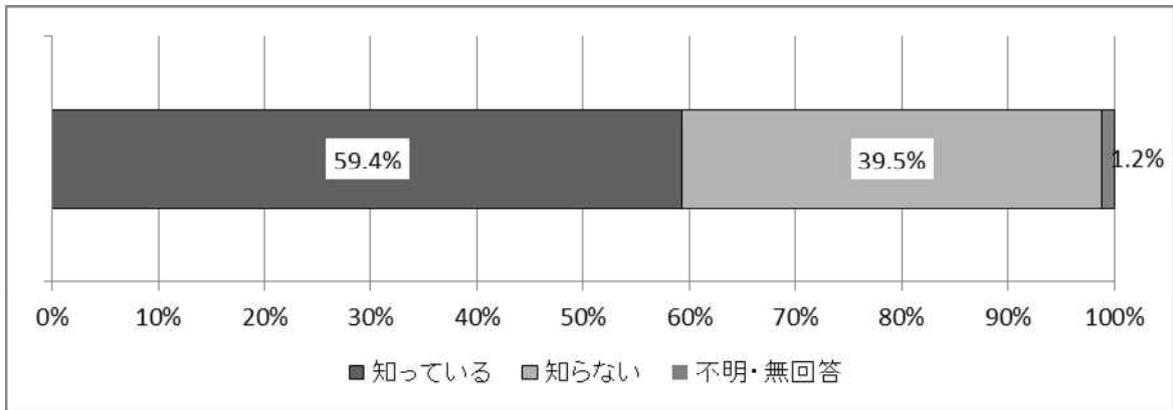
○ 力を入れてほしい施策



- ①結婚・出産・子育てまでの切れ目のない支援や社会全体で子どもを安全・安心に生み育てることができる環境づくり
- ② 子どもの育ちを支える滋賀ならではの教育環境づくり
- ③琵琶湖の経験を活かした産学官民連携による滋賀の水環境ビジネスの推進
- ④次世代の雇用につながる新たな産業の創出
- ⑤滋賀の産業を支える人材の育成や滋賀で働く優秀な人材確保の取組
- ⑥若者、女性、中高年者、障害者が滋賀で働き、活躍できるための取組
- ⑦豊かな自然など滋賀の魅力ある暮らしぶりを県外に広くPRするなどの移住施策
- ⑧ビワイチをはじめとする観光施策や首都圏での情報発信など滋賀の魅力の向上のための施策
- ⑨高齢者に地域の担い手として活躍してもらうための取組や健康長寿を実現するための取組
- ⑩再生可能エネルギーの活用など新しいエネルギー社会づくりや低炭素社会への転換
- ⑪2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えた滋賀の文化の魅力発信やスポーツに親しむための環境づくり
- ⑫災害リスクに備えた安全・安心を実現するための県土づくり（インフラ整備）
- ⑬地域資源を活かした魅力的な仕事づくりや6次産業化（※1）の推進などによる力強い農林水産業、魅力ある農山漁村をつくるための取組
- ⑭地域・拠点間の連携確保や誰もが利用しやすい道路空間づくり
- ⑮鉄道・バス等の利便性向上など公共交通を使いやすいまちづくり
- ⑯安全で安心して暮らすための自治会など住民が中心となった防災や防犯対策の推進
- ⑰在来魚介類の回復や生態系の保全・再生など琵琶湖流域の保全・再生に向けた取組
- ⑱「世界農業遺産」（※2）の認定に向けた取組など、琵琶湖と共生してきた滋賀の農林水産業を健全な姿で次世代に引き継ぐ施策
- ⑲子育て世帯のための空き家リノベーション（※3）や公園・緑地の整備などゆとりある生活環境づくり
- ⑳全ての人がひとの絆と支え合いで安心して生活し、居場所と出番を持つことができる地域づくり

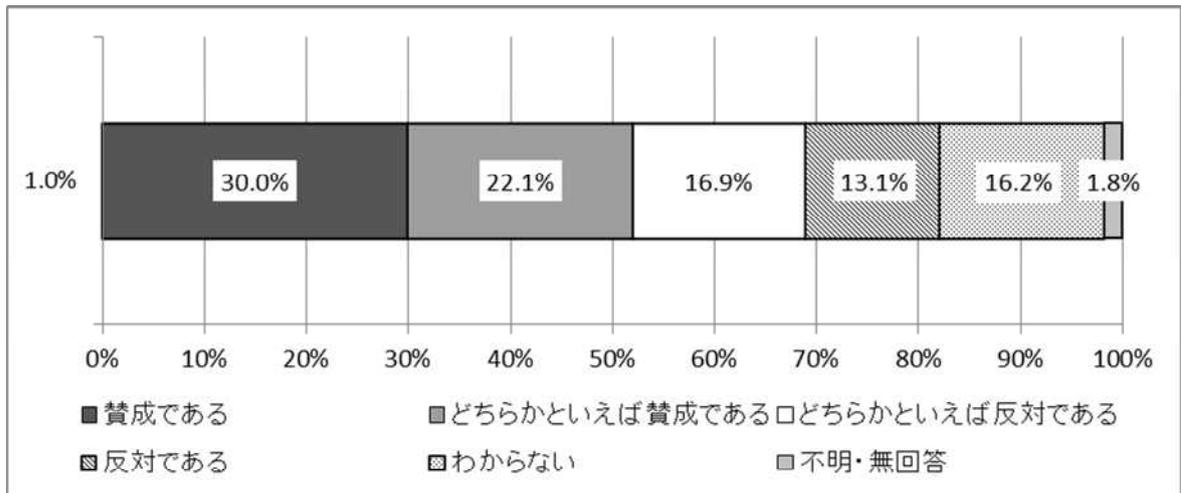
● 「びわ湖の日」の認知度

○ 「知っている」と答えた人の割合 59.4%



● 「びわ湖の日」を休日としようとするについて

○ 「賛成である」（「賛成である」と「どちらかといえば賛成である」の合計比率）と答えた人の割合 52.1%



4. 今後のスケジュールについて（予定）

クロス集計公表（県公式ホームページ掲載）
報告書公表

8月上旬
10月上旬

第50回 滋賀県政世論調査

単純集計結果

単純集計のみかた

- (1) 比率はすべて、各設問の不明・無回答を含む集計対象者数（付問では当該設問回答対象者数）に対する百分率（％）を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、百分率（％）の合計は、100.0％を超える場合がある。
- (2) 百分率（％）は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示した。1つだけ回答を求める設問（単数回答設問）では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率（％）の合計が100.0％にならない場合がある。また、2つの選択肢を集約した割合（「満足」と「どちらかといえば満足」を合計した『満足度』など）は、該当選択肢の回答数の合計から割合を算出しているため、選択肢ごとに算出した割合の合計と一致しない場合がある。
- (3) 図中の「N」は集計対象者数（あるいは、分類別の該当対象者数）を示し、各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出した。また、図中の「n」は当該選択肢の規正回答者数を示す。
- (4) 回答者数は、各地域の抽出率の差を調整するため、回収数にウェイトを加重し規正した。これは標本数の配分にあたり、湖西地域は他の6地域（大津、湖南、甲賀、東近江、湖東、湖北）の2倍のウェイトを加重して抽出したためである。

平成29年度

滋 賀 県

目 次

I. 調査実施概要.....	1
II. 単純集計表.....	8

I. 調査実施概要

1. 調査目的

県政全体に関する満足度と県政の当面する主要課題等をテーマに選び、県民の意識・意向を調査し、今後の県政をすすめるうえでの基礎資料とする。

2. 調査期間

平成29年5月30日（火）～平成27年6月20日（火）

3. 調査設計

調査地域	滋賀県内全域
調査対象	県内在住の満18歳以上の個人
標本数	3,000人
抽出台帳	選挙人名簿
抽出方法	層化二段無作為抽出法
調査票	日本語

4. 調査方法

郵送法・オンライン調査法の併用、無記名方式、督促1回

5. 調査機関

株式会社地域社会研究所

6. 調査項目

- (1) 県政全体に関する満足度について
- (2) 県の広報・広聴活動について
- (3) 「びわ湖の日」について
- (4) 高齢期の生活・活動と介護について

7. 標本構成

(1) 層化

県内の市町を7地域に分類した。

大津	大津市
湖南	草津市、守山市、栗東市、野洲市
甲賀	甲賀市、湖南市
東近江	近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町
湖東	彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
湖北	長浜市、米原市
湖西	高島市

(2) 標本数の配分

各地域規模の層における18歳以上の人口を基に、ウェイト補正（「(4)調査結果の集計表示方法」を参照）を行って3,000人の標本数を比例配分した。

	推定母集団（人）	標本数（人）	地点数(地点)
大津	280,625	705	47
湖南	264,794	665	45
甲賀	118,159	297	21
東近江	188,091	472	33
湖東	126,005	318	25
湖北	130,130	327	23
湖西	42,870	216	15
合計	1,150,674	3,000	209

注1) 抽出地点は、平成27年度国勢調査時に設定された調査区を使用した。

注2) 推定母集団は、平成29年3月2日現在の選挙人名簿定時登録者数から算出した。

(3) 調査票の回収結果

有効回答数は1,522件で、有効回収率は全体で50.7%となった。

なお、郵送とインターネットの両方で回答があったものについては、インターネット回答のみを有効とした。

	標本数 (人)	有効回収数 (件)		有効回収率 (%)	※参考 ネット回答 割合
			うち ネット回答		
大津	705	360	50	51.1	13.9%
湖南	665	347	39	52.2	11.2%
甲賀	297	124	14	41.8	11.3%
東近江	472	252	32	53.4	12.7%
湖東	318	151	20	47.5	13.2%
湖北	327	163	21	49.8	12.9%
湖西	216	121	14	56.0	11.6%
不明・無回答		4	0	—	0.0%
合計	3,000	1,522	190	50.7	12.5%

(4) 調査結果の集計表示方法

各地域とも統計的な信頼度が確保できるように、以下のとおりの標本数と抽出ウェイトとしている。

地域別の抽出数が異なるため、有効回収数に集計ウェイトを加重し補正した。調査結果は、この「規正標本数」を基数として集計を行った。

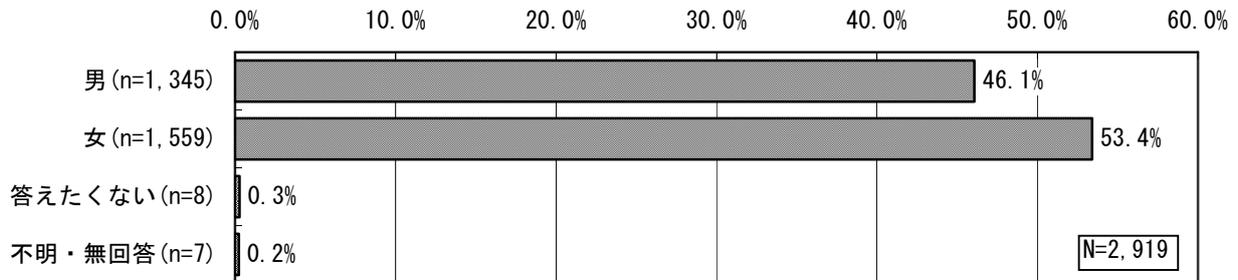
	抽出 ウェイト	標本数 (人)	有効回収数 (件)	集計 ウェイト	規正標本数 (件)
大津	1 / 2	705	360	2	720
湖南	1 / 2	665	347	2	694
甲賀	1 / 2	297	124	2	248
東近江	1 / 2	472	252	2	504
湖東	1 / 2	318	151	2	302
湖北	1 / 2	327	163	2	326
湖西	1	216	121	1	121
不明・無回答			4	—	4
合計	—	3,000	1,522	—	2,919

8. 回答者の属性

ここでは回答者の属性について、性別、年代別、居住地域別、職業別、勤務地（通学地）別、居住歴別にみた結果を示す。

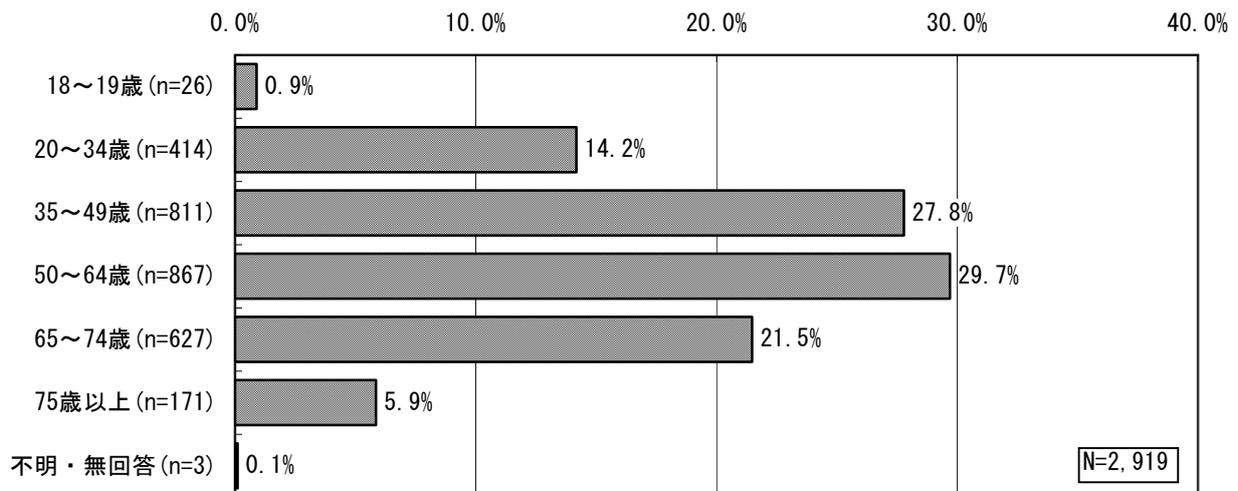
（1）性別

性別は、「女性」が53.4%、「男性」が46.1%となっている。



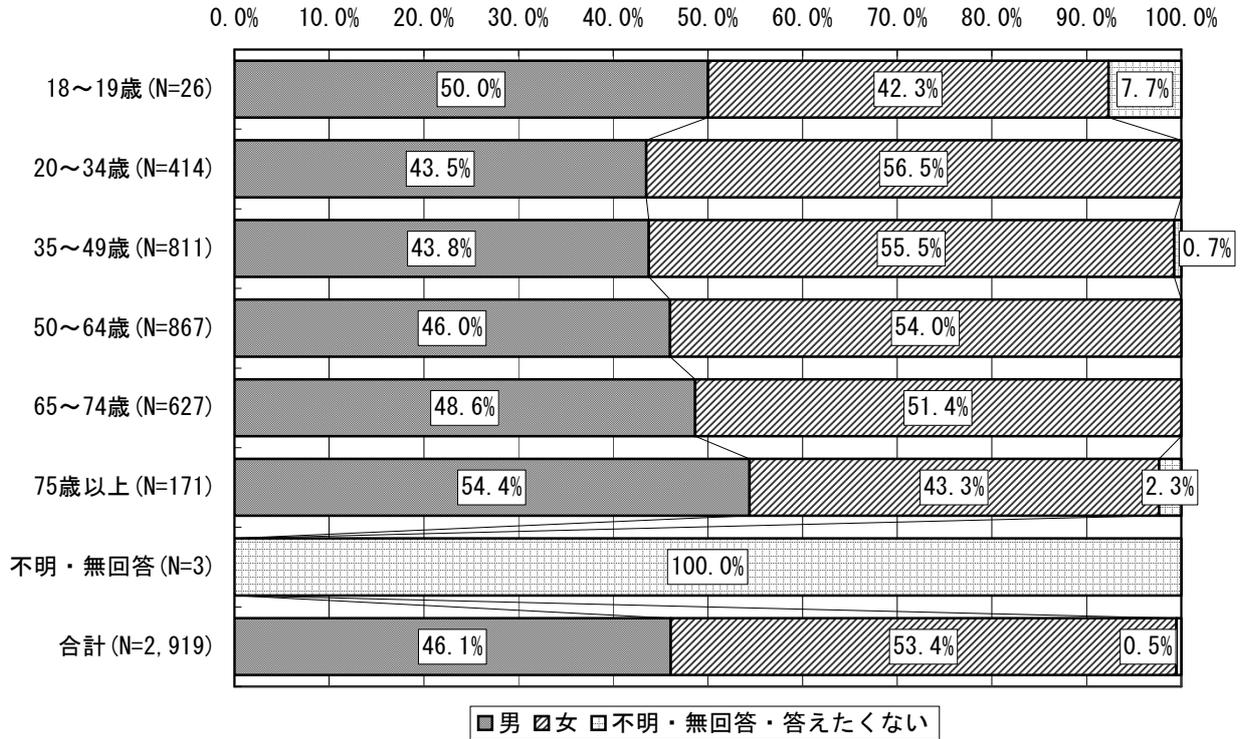
（2）年代別

年代は、「50～64歳」が29.7%で最も多く、以下、「35～49歳」が27.8%、「65～74歳」が21.5%、「20～34歳」が14.2%と続いている。



(3) 性・年代別

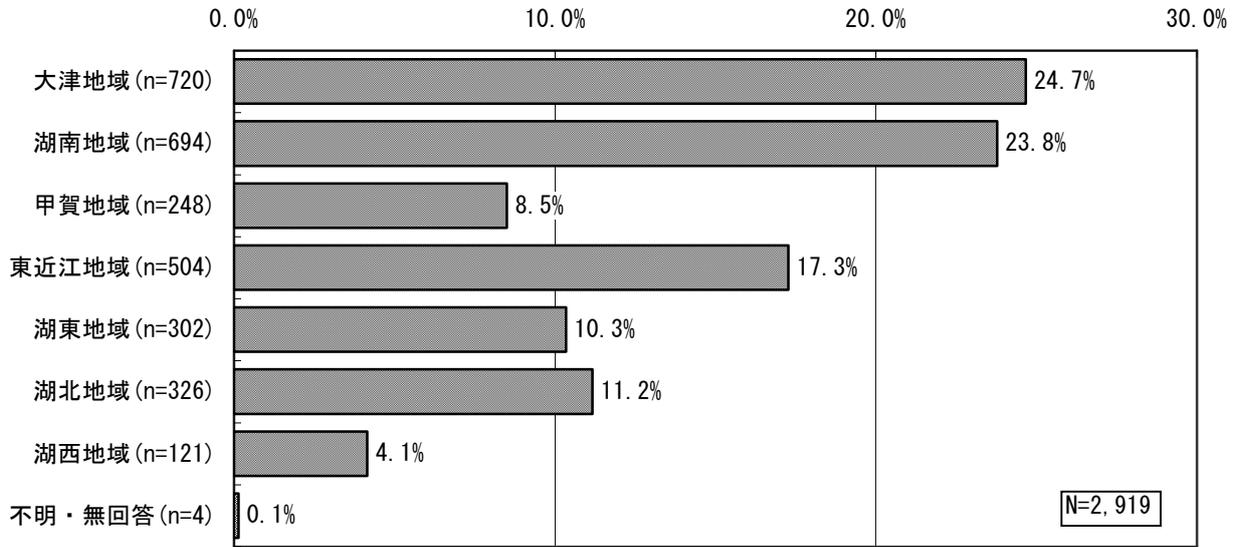
性・年代別の構成をみると、20～74歳は女性が50%以上を占め、男性の比率を上回っている。18～19歳と75歳以上では男性が女性を上回っている。



	正規標本数 (件)	男性 (%)	女性 (%)	不明・無回答・ 答えたくない (%)
18～19歳	26	50.0	42.3	7.7
20～34歳	414	43.5	56.5	0.0
35～49歳	811	43.8	55.5	0.7
50～64歳	867	46.0	54.0	0.0
65～74歳	627	48.6	51.4	0.0
75歳以上	171	54.4	43.3	2.3
不明・無回答	3	0.0	0.0	100.0
合計	2,919	46.1	53.4	0.5

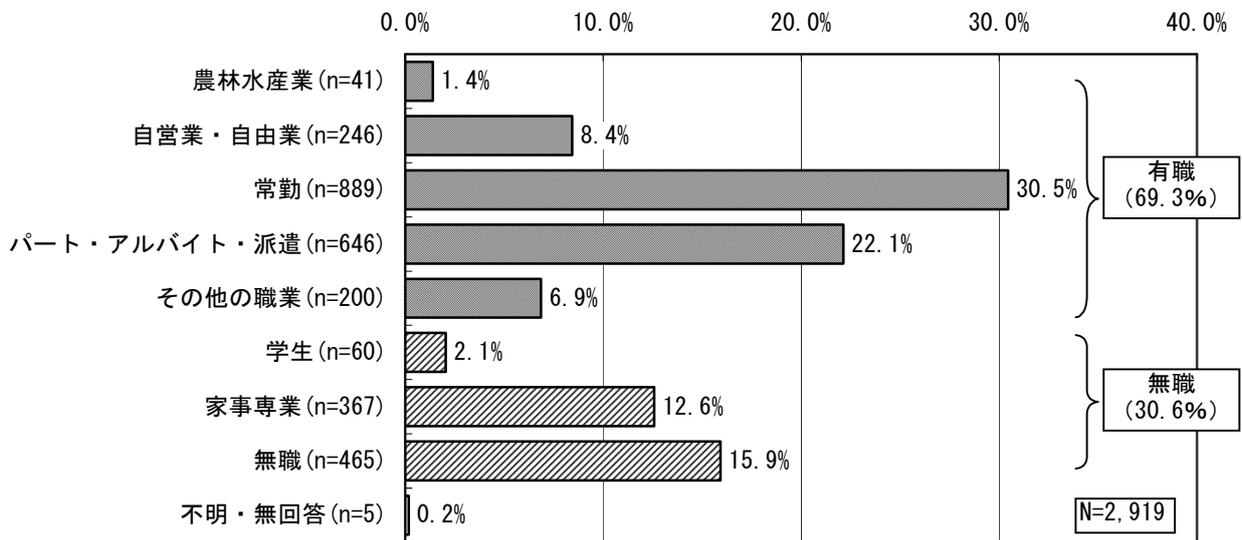
(4) 居住地域別

居住地域は「大津地域」が24.7%と最も多く、以下、「湖南地域」が23.8%、「東近江地域」が17.3%と続いている。



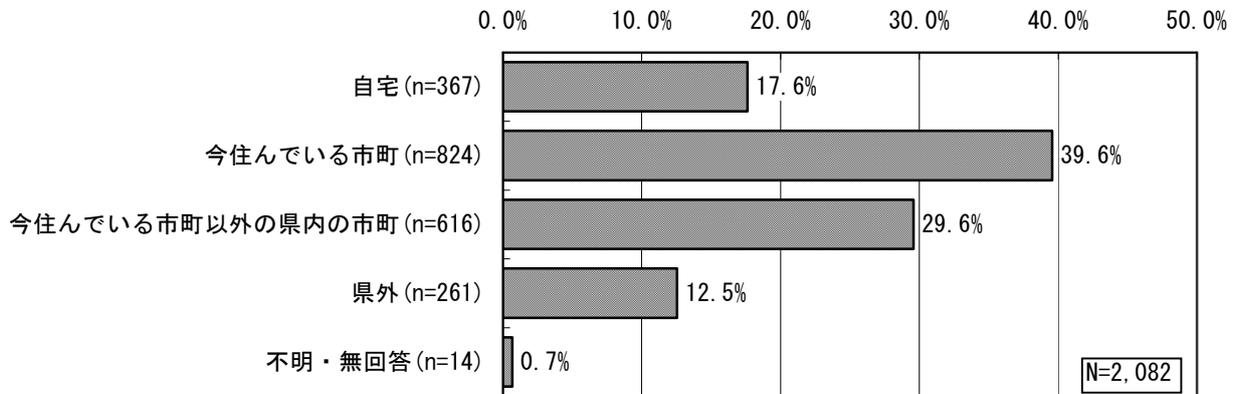
(5) 職業別

職業は、有職が69.3%となっており、そのうち「常勤」が30.5%で最も多く、次いで「パート・アルバイト・派遣」が22.1%となっている。これに対して無職は30.6%となっている。



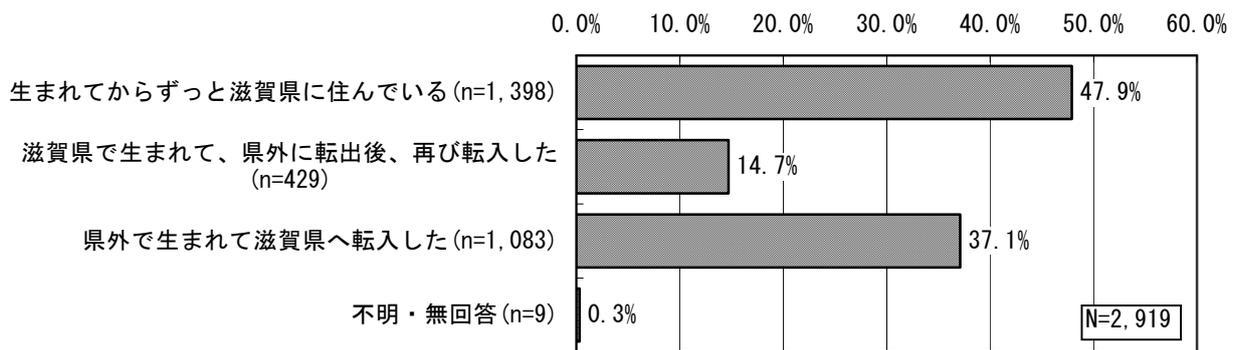
(付問1) 勤務地(通学地) 別

「農林水産業」「自営業・自由業」「常勤」「パート・アルバイト・派遣」「その他の職業」「学生」と回答した人に対して、勤務地(通学地)をたずねたところ、「今住んでいる市町」が39.6%で最も多く、次いで「今住んでいる市町以外の県内の市町」が29.6%となっている。



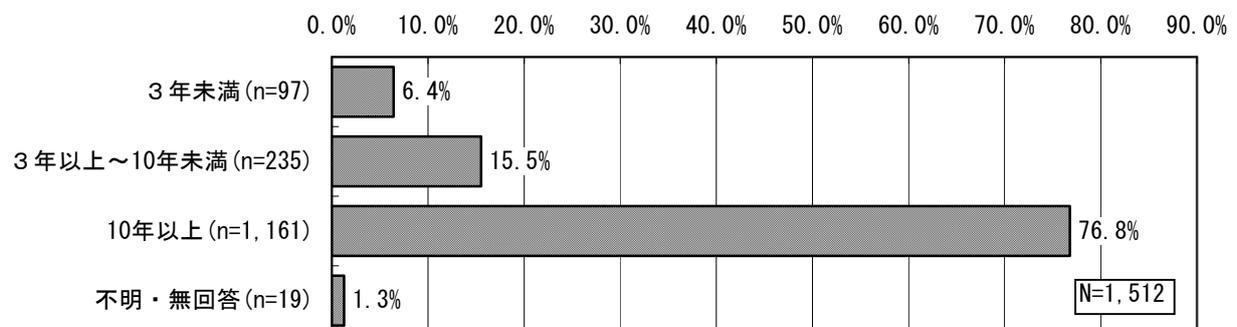
(6) 居住歴別

居住歴は、「生まれてからずっと滋賀県に住んでいる」が47.9%で最も多く、次いで「県外で生まれて滋賀県へ転入した」が37.1%となっている。



(付問1) 転入後の居住年数

「滋賀県で生まれて、県外に転出後、再び転入した」と「県外で生まれて滋賀県へ転入した」人に対して、転入後の居住年数をたずねたところ、「10年以上」が76.8%で最も多くなっている。



Ⅱ. 単純集計表

■回答者の属性

問1 性別

	1	2	3	
(規正標本数)	男	女	答えたくない	不明・無回答
2,919	1,345	1,559	8	7
100.0%	46.1%	53.4%	0.3%	0.2%

問2 年代

	1	2	3	4	5	6		
(規正標本数)	1 8 5 1 9 歳	2 0 5 3 4 歳	3 5 4 9 歳	4 0 6 4 歳	5 5 7 4 歳	6 5 7 4 歳	7 5 歳以上	不明・無回答
2,919	26	414	811	867	627	171	3	
100.0%	0.9%	14.2%	27.8%	29.7%	21.5%	5.9%	0.0%	

性・年代

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
(規正標本数)	1男 8性 5 1 9 歳	2男 0性 5 3 4 歳	3男 5性 4 9 歳	4男 0性 6 4 歳	5男 5性 7 4 歳	6男 5性 5 歳以上	7男 5性 歳以上	年男 8性 5 1 9 歳	1女 0性 3 4 歳	2女 0性 4 9 歳	3女 5性 4 歳	5女 0性 6 4 歳	6女 5性 7 4 歳	7女 5性 歳以上	年女 5性 歳以上
2,919	13	180	355	399	305	93	0	11	234	450	468	322	74	0	
100.0%	0.4%	6.2%	12.2%	13.7%	10.4%	3.2%	0.0%	0.4%	0.4%	8.0%	15.4%	16.0%	11.0%	0.0%	
	15	16													
	1 8 5 1 9 歳	3 答 え た く な い 歳	無 回 答 ・ 不 明												
	2	6	7												
	0.1%	0.2%	0.2%												

問3 居住地域

	1	2	3	4	5	6	7		
規正標本数（総数）	大津地域（大津市）	湖東南地域（草津市、守山市、業東市、野洲市）	甲賀地域（甲賀市、湖南市）	近江地域（近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町）	豊郷町、甲良町、多賀町	湖東地域（彦根市、愛荘町）	湖北地域（長浜市、米原市）	湖西地域（高島市）	不明・無回答
2,919	720	694	248	504	302	326	121	4	
100.0%	24.7%	23.8%	8.5%	17.3%	10.3%	11.2%	4.1%	0.1%	

問4 職業

	1	2	3	4	5	6	7	8	
規正標本数（総数）	農林水産業	自営業・自由業	常勤	パート・アルバイト・派遣	その他の職業	学生	家事専業	無職	不明・無回答
2,919	41	246	889	646	200	60	367	465	5
100.0%	1.4%	8.4%	30.5%	22.1%	6.9%	2.1%	12.6%	15.9%	0.2%

問4(付問1) 主な勤務地(問4で1～6のいずれかを回答した人のみ)

	1	2	3	4	
規正標本数（総数）	自宅	今住んでいる市町	外の県内の市町	今住んでいる市町以外	県外
2,082	367	824	616	261	14
100.0%	17.6%	39.6%	29.6%	12.5%	0.7%

問5 滋賀県での居住歴

	1	2	3	
規正標本数（総数）	生 ん ま れ て か ら ず つ と 滋 賀 県 に 住 ん だ り ま す	出 後 、 再 び 転 入 し た	3 し た 県 外 で 生 ま れ て 滋 賀 県 へ 転 入 し た	不 明 ・ 無 回 答
	2,919	1,398	429	1,083
	100.0%	47.9%	14.7%	37.1%
				9
				0.3%

問5(付問1) 滋賀県転入後の居住年数(問5で2または3と回答した人のみ)

	1	2	3	
規正標本数（総数）	3 年 未 満	3 年 以 上 、 1 0 年 未 満	1 0 年 以 上	不 明 ・ 無 回 答
	1,512	97	235	1,161
	100.0%	6.4%	15.5%	76.8%
				19
				1.3%

1. 県政全体に関する満足度について

問6 滋賀県への定住意向

規正標本数 (総数)	1	2	3	不明・無回答
	住みつづけた い	住みつづけた いとは思わ ない	ど ちらともい えない	
2,919	2,195	102	612	10
100.0%	75.2%	3.5%	21.0%	0.3%

問7 県政への関心

規正標本数 (総数)	1	2	3	4	不明・無 回答	(1+2)	(3+4)
	関 心 が あ る	ま あ ま あ 関 心 が あ る	あ ま り 関 心 が な い	関 心 が な い		関 心 あ り	関 心 な し
2,919	510	1,318	853	216	22	1,828	1,069
100.0%	17.5%	45.2%	29.2%	7.4%	0.8%	62.6%	36.6%

問8 県の施策への満足度

	(規正 標本 数)	1	2	3	4	5	6	不明・無回答	(1+2)	(4+5)
		満足	満足 どちらか といえ ば	い どちら とも え ない	不 どちら かとい え ば	不 満	わ から ない		満足 度	不 満 度
1 結婚・出産・子育てまでの切れ目のない支援や社会全体で子どもを安全・安心に生み育てることができる環境づくり	2,919	126	730	1,101	356	157	428	21	856	513
	100.0%	4.3%	25.0%	37.7%	12.2%	5.4%	14.7%	0.7%	29.3%	17.6%
2 子どもの育ちを支える滋賀ならではの教育環境づくり	2,919	96	668	1,110	351	168	499	27	764	519
	100.0%	3.3%	22.9%	38.0%	12.0%	5.8%	17.1%	0.9%	26.2%	17.8%
3 琵琶湖の経験を活かした産学官民連携による滋賀の水環境ビジネスの推進	2,919	90	675	1,030	251	115	729	29	765	366
	100.0%	3.1%	23.1%	35.3%	8.6%	3.9%	25.0%	1.0%	26.2%	12.5%
4 次世代の雇用につながる新たな産業の創出	2,919	31	203	1,096	655	311	590	33	234	966
	100.0%	1.1%	7.0%	37.5%	22.4%	10.7%	20.2%	1.1%	8.0%	33.1%
5 滋賀の産業を支える人材の育成や滋賀で働く優秀な人材確保の取組	2,919	38	217	1,117	611	280	619	37	255	891
	100.0%	1.3%	7.4%	38.3%	20.9%	9.6%	21.2%	1.3%	8.7%	30.5%
6 若者、女性、中高年者、障害者が滋賀で働き、活躍できるための取組	2,919	50	364	1,039	617	334	500	15	414	951
	100.0%	1.7%	12.5%	35.6%	21.1%	11.4%	17.1%	0.5%	14.2%	32.6%
7 豊かな自然など滋賀の魅力ある暮らしぶりを県外に広くPRするなどの移住施策	2,919	74	470	1,068	534	212	519	42	544	746
	100.0%	2.5%	16.1%	36.6%	18.3%	7.3%	17.8%	1.4%	18.6%	25.6%
8 ビワイチをはじめとする観光施策や首都圏での情報発信など滋賀の魅力の向上のための施策	2,919	109	769	924	455	152	484	26	878	607
	100.0%	3.7%	26.3%	31.7%	15.6%	5.2%	16.6%	0.9%	30.1%	20.8%
9 高齢者に地域の担い手として活躍してもらうための取組や健康長寿を実現するための取組	2,919	57	457	1,181	426	189	585	24	514	615
	100.0%	2.0%	15.7%	40.5%	14.6%	6.5%	20.0%	0.8%	17.6%	21.1%
10 再生可能エネルギーの活用など新しいエネルギー社会づくりや低炭素社会への転換	2,919	42	306	1,205	397	170	776	23	348	567
	100.0%	1.4%	10.5%	41.3%	13.6%	5.8%	26.6%	0.8%	11.9%	19.4%
11 2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えた滋賀の文化の魅力発信やスポーツに親しむための環境づくり	2,919	27	251	1,202	443	201	761	34	278	644
	100.0%	0.9%	8.6%	41.2%	15.2%	6.9%	26.1%	1.2%	9.5%	22.1%
12 災害リスクに備えた安全・安心を実現するための県土づくり(インフラ整備)	2,919	40	352	1,140	572	292	473	50	392	864
	100.0%	1.4%	12.1%	39.1%	19.6%	10.0%	16.2%	1.7%	13.4%	29.6%
13 地域資源を活かした魅力的な仕事づくりや6次産業化の推進などによる力強い農林水産業、魅力ある農山漁村をつくるための取組	2,919	26	224	1,129	454	223	821	42	250	677
	100.0%	0.9%	7.7%	38.7%	15.6%	7.6%	28.1%	1.4%	8.6%	23.2%
14 地域・拠点間の連携確保や誰もが利用しやすい道路空間づくり	2,919	55	532	1,019	531	384	347	51	587	915
	100.0%	1.9%	18.2%	34.9%	18.2%	13.2%	11.9%	1.7%	20.1%	31.3%
15 鉄道・バス等の利便性向上など公共交通を使いやすいまちづくり	2,919	52	384	691	858	716	174	44	436	1,574
	100.0%	1.8%	13.2%	23.7%	29.4%	24.5%	6.0%	1.5%	14.9%	53.9%
16 安全で安心して暮らすための自治会など住民が中心となった防災や防犯対策の推進	2,919	119	757	1,133	389	187	285	49	876	576
	100.0%	4.1%	25.9%	38.8%	13.3%	6.4%	9.8%	1.7%	30.0%	19.7%
17 在来魚介類の回復や生態系の保全・再生など琵琶湖流域の保全・再生に向けた取組	2,919	103	740	925	350	239	523	39	843	589
	100.0%	3.5%	25.4%	31.7%	12.0%	8.2%	17.9%	1.3%	28.9%	20.2%
18 「世界農業遺産」の認定に向けた取組など、琵琶湖と共生してきた滋賀の農林水産業を健全な姿で次世代に引き継ぐ施策	2,919	60	311	1,180	301	120	909	38	371	421
	100.0%	2.1%	10.7%	40.4%	10.3%	4.1%	31.1%	1.3%	12.7%	14.4%
19 子育て世帯のための空き家リノベーションや公園・緑地の整備などゆとりある生活環境づくり	2,919	66	427	1,053	483	307	547	36	493	790
	100.0%	2.3%	14.6%	36.1%	16.5%	10.5%	18.7%	1.2%	16.9%	27.1%
20 全ての人々がひとの絆と支え合いで安心して生活し、居場所と出番を持つことができる地域づくり	2,919	58	415	1,235	398	223	552	38	473	621
	100.0%	2.0%	14.2%	42.3%	13.6%	7.6%	18.9%	1.3%	16.2%	21.3%

問9 力を入れてほしい県の施策(3つ以内で複数回答)

規正標本数(総数)	1 生支結 み援婚 育や・出 て社会産 ること全 ができる体 環境で子 づくりの育 りまの切 れ目の ない	2 育子 環のの 境育育 づくち り支を え支 る滋 賀な らで はの 教	3 よ琵琶 る湖の 滋賀の経 水環験 境を ビ活 ジか ネし スのた 推産 進学 の官 民民 連連 携携 にに	4 出次 世世 代の代 雇雇 用用 につ つな がが るる 新新 たた なな 産産 業業 のの 創創	5 働滋 く賀 優の 秀業 なを 人支 材え 保る の人 取材 組の 育 成 や 滋 賀 で	6 働若 き者 、 活女 躍性 で、 中 高 年 者 、 障 害 者 が 滋 賀 で	7 り豊 を可 県な 外自 に然 広な くど PR滋 す賀 るの な魅力 のあ 移る 住暮 施ら 策し ぶ	8 た園 めでの 情情 報報 発発 信信 なな どど 滋滋 賀賀 のの 魅魅 力力 のの 向向 上上 のの 施施 策策	9 めら のう 取取 組組 や 健 康 長 寿 を 実 現 す る た も	10 高換 齢者 に 地 域 の 担 い 手 と し て 活 躍 し て も	11 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー の 活 用 な ど 新 しい エ ン ゲ ジ ン の 環 境 づ く り	12 災 害 リ ス ク に 備 え た 安 全 ・ 安 心 を 実 現 す る た め の 県 土 づ く り (イ ン フ ラ 整 備)
2,919	1,064	808	209	758	390	1,034	160	178	356	167	112	531
100.0%	36.5%	27.7%	7.2%	26.0%	13.4%	35.4%	5.5%	6.1%	12.2%	5.7%	3.8%	18.2%
	13 力産地 ある業域 る化の資 農の源 山推活 漁進か 村な をつし くよ る魅 た力 め強 のい 取農 組林 水水 産産 業業 、 魅	14 道地 路域 空・ 間拠 づ点 くり間の 連 携 確 保 や 誰 も が 利 用 し や す い	15 や鉄 す道 い・ まバ ちス づく等 くりの 利 便 性 向 上 な ど 公 共 交 通 を 使 い	16 中安 心全 とで な安 つ心 つし て 暮 ら す た め の 自 治 会 な ど 住 民 が	17 琶在 湖来 流魚 域介 の類 保の 全回 ・復 再や 生 態 系 の 保 全 ・ 再 生 な ど 琵琶	18 姿琶 で湖 次と 世共 代生 に引 きし き た 滋 賀 の 農 林 水 産 業 を 健 全 な	19 園子 ・育 緑て 地の世 の帯 整の 備た なめ ゆの と空 とき 家 リ ノ ベ ー シ ョ ン や 公	20 りし 全 て の 人 が ひ と の 絆 と 支 え 合 い で 安 心 し て 生 活	不明・無回答			
	115	231	917	222	208	60	274	388	67			
	3.9%	7.9%	31.4%	7.6%	7.1%	2.1%	9.4%	13.3%	2.3%			

問10 将来に夢や希望を抱いているか

規正標本数(総数)	1 抱 い て い る	2 少 し 抱 い て い る	3 あ ま り 抱 い て い ない	4 抱 い て い ない	不明・無回答	(1+2) 抱 い て い る	(3+4) 抱 い て い ない
2,919	585	1,128	960	202	44	1,713	1,162
100.0%	20.0%	38.6%	32.9%	6.9%	1.5%	58.7%	39.8%

問11 「豊かさ」を実感できているか

規正標本数（総数）	1	2	3	4	不明・無回答	(1+2)	(3+4)
	る豊かであると感じている	どちらかという豊かであると感じている	あまり豊かでないと感じている	る豊かでないと感じている		豊かである	豊かでない
2,919	304	1,615	740	235	25	1,919	975
100.0%	10.4%	55.3%	25.4%	8.1%	0.9%	65.7%	33.4%

問12 豊かさを実感するうえで大切なもの(3つ以内で複数回答)

規正標本数（総数）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	健康	個人の時間	家計のゆとり	社会参加	全ての人の活躍できる場	移動のしやすさ	住みやすさ	仕事のやりがい	災害に強いこと	子育て・教育環境	若者の活躍できる場	自然環境
2,919	2,044	497	1,495	69	158	150	881	326	230	377	99	508
100.0%	70.0%	17.0%	51.2%	2.4%	5.4%	5.1%	30.2%	11.2%	7.9%	12.9%	3.4%	17.4%
	13	14	15	16	17	不明・無回答						
	食生活	就業や収入	文化	スポーツ	余暇							
	312	740	118	79	306	20						
	10.7%	25.4%	4.0%	2.7%	10.5%	0.7%						

2. 県の広報・広聴活動について

問13 県の広聴活動への要望(3つ以内で複数回答)

	1	2	3	4	5	6	7		
規正標本数(総数)	インターネットによる意見等の募集	知事や県職員が県民の皆さんと直接対話を行う機会の提供	条例案や計画案などに対する意見等の募集	郵送やインターネットによるアンケート調査の実施	審議会や委員会等の委員の公募	県民相談の実施	その他	不明・無回答	
	2,919	1,319	1,094	763	1,000	251	838	126	221
	100.0%	45.2%	37.5%	26.1%	34.3%	8.6%	28.7%	4.3%	7.6%

問14 県施策等の情報の入手方法(3つ以内で複数回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
規正標本数(総数)	新聞	テレビ	ラジオ	広報誌「滋賀プラスワン」	ポスター・チラシ・パンフレット	滋賀県公式ホームページ	滋賀県公式ツイッター	滋賀県公式フェイスブック	知人・友人の話	不明・無回答	
	2,919	1,486	1,615	191	1,768	582	234	20	38	474	83
	100.0%	50.9%	55.3%	6.5%	60.6%	19.9%	8.0%	0.7%	1.3%	16.2%	2.8%

問15 県の広報の認知率

		規 正 標 本 数 (総 数)	1 聴 い た り し て い る	2 聴 い た り し て い る	3 見 あ ま り 読 ん だ り し な い	4 聴 い た り し た こ と が な い	5 知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答	(1+2) 閲 読 ・ 視 聴 ・ 聴 取 率	(1~4) 認 知 率
1	広報誌「滋賀プラスワン」	2,919	392	1,365	531	219	351	61	1,757	2,507
		100.0%	13.4%	46.8%	18.2%	7.5%	12.0%	2.1%	60.2%	85.9%
2	テレビ番組 「テレビ滋賀プラスワン」	2,919	48	437	881	568	903	82	485	1,934
		100.0%	1.6%	15.0%	30.2%	19.5%	30.9%	2.8%	16.6%	66.3%
3	テレビ番組「しらがテレビ」	2,919	31	199	630	437	1,530	92	230	1,297
		100.0%	1.1%	6.8%	21.6%	15.0%	52.4%	3.2%	7.9%	44.4%
4	テレビ番組「しらがのイチオシ!」	2,919	26	176	686	427	1,512	92	202	1,315
		100.0%	0.9%	6.0%	23.5%	14.6%	51.8%	3.2%	6.9%	45.0%
5	滋賀県公式ホームページ	2,919	23	299	681	947	864	105	322	1,950
		100.0%	0.8%	10.2%	23.3%	32.4%	29.6%	3.6%	11.0%	66.8%
6	滋賀県公式ツイッター	2,919	4	34	410	757	1,609	105	38	1,205
		100.0%	0.1%	1.2%	14.0%	25.9%	55.1%	3.6%	1.3%	41.3%
7	滋賀県公式フェイスブック	2,919	2	44	386	749	1,632	106	46	1,181
		100.0%	0.1%	1.5%	13.2%	25.7%	55.9%	3.6%	1.6%	40.5%
8	滋賀県公式インスタグラム	2,919	6	11	338	630	1,825	109	17	985
		100.0%	0.2%	0.4%	11.6%	21.6%	62.5%	3.7%	0.6%	33.7%
9	ラジオ番組 「滋賀プラスワン インフォメーション」	2,919	20	103	376	376	1,931	113	123	875
		100.0%	0.7%	3.5%	12.9%	12.9%	66.2%	3.9%	4.2%	30.0%
10	県議会広報紙 「滋賀県議会だより」	2,919	147	787	734	502	663	86	934	2,170
		100.0%	5.0%	27.0%	25.1%	17.2%	22.7%	2.9%	32.0%	74.3%
11	テレビ番組 「県議会リポート」 「委員会活動リポート」	2,919	23	153	498	665	1,484	96	176	1,339
		100.0%	0.8%	5.2%	17.1%	22.8%	50.8%	3.3%	6.0%	45.9%
12	テレビ番組 「県議会ダイジェスト」	2,919	17	101	509	734	1,464	94	118	1,361
		100.0%	0.6%	3.5%	17.4%	25.1%	50.2%	3.2%	4.0%	46.6%
13	県議会ホームページ	2,919	6	66	391	684	1,665	107	72	1,147
		100.0%	0.2%	2.3%	13.4%	23.4%	57.0%	3.7%	2.5%	39.3%
14	県議会インターネット中継	2,919	4	31	327	602	1,852	103	35	964
		100.0%	0.1%	1.1%	11.2%	20.6%	63.4%	3.5%	1.2%	33.0%

3. 「びわ湖の日」について

問16 「びわ湖の日」の認知度

	1	2	
規正標本数（総数）	知っている	知らない	不明・無回答
2,919	1,733	1,152	34
100.0%	59.4%	39.5%	1.2%

問17 「びわ湖の日」を休日としようとする事について

	1	2	3	4	5		(1+2)	(3+4)
規正標本数（総数）	賛成である	成どちらかといえば賛	対どちらかといえば反	反対である	わからない	不明・無回答	賛成	反対
2,919	875	644	492	382	473	53	1,519	874
100.0%	30.0%	22.1%	16.9%	13.1%	16.2%	1.8%	52.0%	29.9%

問18-1 行政機関(県庁や市役所・町役場)が休日になること

	1	2	3	4	5		(1+2)	(3+4)
規正標本数（総数）	賛成である	成どちらかといえば賛	対どちらかといえば反	反対である	わからない	不明・無回答	賛成	反対
2,919	626	489	568	845	303	88	1,115	1,413
100.0%	21.4%	16.8%	19.5%	28.9%	10.4%	3.0%	38.2%	48.4%

問18-2 学校が休日になること

	1	2	3	4	5		(1+2)	(3+4)
規正標本数（総数）	賛成である	成どちらかといえば賛	対どちらかといえば反	反対である	わからない	不明・無回答	賛成	反対
2,919	802	602	440	686	305	84	1,404	1,126
100.0%	27.5%	20.6%	15.1%	23.5%	10.4%	2.9%	48.1%	38.6%

問18-3 民間企業等が休日になること

規正標本数 (総数)	1	2	3	4	5	不明・無回答	(1+2)	(3+4)
	賛成である	どちらかといえ賛成である	どちらかといえ反対である	反対である	わからない		賛成	反対
2,919	783	619	409	614	407	87	1,402	1,023
100.0%	26.8%	21.2%	14.0%	21.0%	13.9%	3.0%	48.0%	35.0%

問19 日頃、環境保全行動を行っているか

規正標本数 (総数)	1	2	3	4	不明・無回答
	積極的に行っている	できるだけ行っている	あまり行っていない	全く行っていない	
2,919	402	1,674	518	268	57
100.0%	13.8%	57.3%	17.7%	9.2%	2.0%

問20 関心のある琵琶湖にかかわる活動や取組(3つ以内で複数回答)

規正標本数 (総数)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	琵琶湖に関する活動	琵琶湖博物館等の環境に関する施設訪問	琵琶湖や河川、道路等に美化活動	外来魚釣りによる生態系保全	稚魚の放流などによる在来種の保全活動	水草やオオバナミズキンバイ等の除去作業	ヨシ帯の保全に関わる活動	棚田や里山保全に関わる活動	間伐など森林保全に関わる活動	漁業体験や湖魚を使った料理の購入や食事	水泳やカヌーなどの琵琶湖レジャーの体験	昆虫・鳥・植物等の観察や自然体験
2,919	116	336	1,364	582	432	311	267	254	193	196	388	311
100.0%	4.0%	11.5%	46.7%	19.9%	14.8%	10.7%	9.1%	8.7%	6.6%	6.7%	13.3%	10.7%
	13	14	15	16	17	不明・無回答						
	昔の生活様式や地域の伝統文化の学習	地産地消の商品の購入	省エネやリサイクル推進など環境にやさしい暮らし	関心がない	その他							
	241	572	1,049	181	37	84						
	8.3%	19.6%	35.9%	6.2%	1.3%	2.9%						

4. 高齢期の生活・活動と介護について

問21 高齢期に取り組みたい活動(3つ以内で複数回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
規正標本数(総数)	仕事	学習活動	趣味・娯楽の活動(旅行、自家菜園等を含む)	スポーツ・健康・レクリエーションの活動	高齢者や障害者等への援助・介助の活動	保育・教育の活動(子ども会、共同保育等)	犯罪、まちづくり、交通安全運動、環境美化等)	生活環境にかかわる活動(防火・防犯等)	消費生活に関する活動(資源リサイクル、商品の共同購入、不用品の交換等)	地域行事や自治活動(町内会活動や神社の祭り等を含む)	その他の活動	活動はしたくない	不明・無回答
2,919	855	381	2,048	1,127	349	224	436	305	521	57	64	140	
100.0%	29.3%	13.1%	70.2%	38.6%	12.0%	7.7%	14.9%	10.4%	17.8%	2.0%	2.2%	4.8%	

問22 家族の介護の経験

	1	2	3	4	5	
規正標本数(総数)	自分が主に介護をしたこと、同居がある家	自分が主に介護をしたこと、別居がある家	自分は補助的に介護をしたこと、同居がある家	自分は補助的に介護をしたこと、別居がある家	介護をしたことがない	不明・無回答
2,919	399	113	389	387	1,498	133
100.0%	13.7%	3.9%	13.3%	13.3%	51.3%	4.6%

問23 家族を介護するために充実してほしい支援制度(3つ以内で複数回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
規正標本数(総数)	認知症の人が利用できるサービス	24時間対応の在宅サービス	施設待機解消のための施設整備	配食や送迎、見守り介護などの生活支援サービスの充実	保険料や利用料の軽減	医療や介護サービス利用にかかる統一的な相談窓口の設置、相談体制の強化	要介護認定など利用者の手続きの簡素化	住宅のバリアフリー化	介護従事者による、たんの吸引など基礎的な医療的なケアの実施	生活動作の改善や栄養改善などの介護予防サービスの充実	その他	特になし	
	2,919	957	968	1,105	815	1,430	537	728	314	154	192	73	26
	100.0%	32.8%	33.2%	37.9%	27.9%	49.0%	18.4%	24.9%	10.8%	5.3%	6.6%	2.5%	0.9%
	13	答不明・無回答											
	わからない												
	81	145											
	2.8%	5.0%											

問24 認知症に関する相談機関や制度の認知度(複数回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
規正標本数(総数)	市町の高齢者(障害者)の相談窓口	市町の地域包括支援センター	認知症相談医	病院(神経内科や脳神経外科、精神科など)	認知症の人と家族の会滋賀県支部(もの忘れ介護相談室)	認知症の専門相談機関	認知症の専門医療機関	認知症疾患医療センター	その他	不明・無回答	
	2,919	1,089	1,054	456	1,735	201	259	370	191	71	523
	100.0%	37.3%	36.1%	15.6%	59.4%	6.9%	8.9%	12.7%	6.5%	2.4%	17.9%

問25 認知症施策について充実してほしいこと(3つ以内で複数回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
規正標本数(総数)	認知症予防対策の取組(予防教室、体操やサロンなどの通いの場づくりなど)	認知症を早期に見つけるため、近くの診療所の医師に対する研修	認知症の人を初期から支援できる、医療や介護の専門職によるチーム体制の充実	認知症についての講演会など県民に対する啓発	認知症の相談窓口や診断ができる医療機関の周知	地域で認知症の人を支えるための介護サービスや人材の育成	若年認知症の相談や支援体制の充実	成年後見制度や虐待の防止などの制度の充実	その他	不明・無回答	
	2,919	1,074	913	1,461	204	1,132	1,058	440	304	52	227
	100.0%	36.8%	31.3%	50.1%	7.0%	38.8%	36.2%	15.1%	10.4%	1.8%	7.8%



滋賀県政世論調査 ～ご協力のお願～

日頃から滋賀県政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

県では、県民の皆様の思いや願いをしっかりと受け止め、県政に活かしていくため、毎年「県政世論調査」を実施しています。

いただいたご意見等は、「夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀」の実現に向けて、大切な基礎資料としてまいりますので、皆様のお声をぜひお聴かせくださいますようお願いいたします。

平成 29 年（2017 年）5 月

滋賀県知事

三浦 大造



ご回答にあたってのお願い

- **平成 29 年 6 月 20 日（火）** までにご回答をお願いします。

○県では、毎年、無作為に選ばせていただいた県内にお住まいの18歳以上の方3,000人を対象に「滋賀県政世論調査」を実施しています。

○この調査は個人を対象にしていますので、お送りした封筒に書かれているあて名の方ご自身がご回答ください。（ご本人によるご回答が困難な場合には、ご家族等の方がご本人から聞き取って代筆、入力をお願いします。）

○この調査の回答は無記名でお願いしております。回答された内容は統計的に処理しますので、内容が外部にもれたりしてご迷惑をおかけすることは決してございません。安心してご回答ください。

どちらかを選び
ご回答ください。

インターネットでお答えいただく方

- ・同封の操作案内をお読みください。
- ※郵送によりご回答いただく方はお読みいただく必要はありません。

インターネット回答用 利用者情報

利用者 I D :
パスワード :

- ※ 利用者情報は個人を特定するものではありません。
- ※ 汚したり、はがさないでください。
- ※ 利用者情報は配布されたご本人のみご利用ください。
- ※ 利用者情報は再発行いたしません。

調査票の郵送によりお答えいただく方

次のページからご記入ください。

- 回答は問 1 から順に、質問ごとに用意した答えの中から、あなたのお考えに近いものの番号に○印をつけてください。
- ご記入いただいた調査票は、三つ折りにして同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストへご投函ください。

※お名前のご記入は不要です。

滋賀県政世論調査に関する問い合わせ先

滋賀県 総合政策部 広報課 県民の声係 電話 077-528-3046（直通） ファックス 077-528-4804

■ おたずねした結果を統計的に分析するため、あなたご自身のことについて教えてください。

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----|-----|----------|
| 1 男 | 2 女 | 3 答えたくない |
|-----|-----|----------|

問2 あなたの年齢は、満でいくつですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 18～19歳 | 2 20～34歳 | 3 35～49歳 |
| 4 50～64歳 | 5 65～74歳 | 6 75歳以上 |

問3 あなたのお住まいの地域はどちらですか。(○は1つだけ)

- | |
|------------------------------|
| 1 大津地域 (大津市) |
| 2 湖南地域 (草津市、守山市、栗東市、野洲市) |
| 3 甲賀地域 (甲賀市、湖南市) |
| 4 東近江地域 (近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町) |
| 5 湖東地域 (彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町) |
| 6 湖北地域 (長浜市、米原市) |
| 7 湖西地域 (高島市) |

問4 あなたのご職業は何ですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------------|-----------|------|
| 1 農林水産業 | 2 自営業・自由業 | 3 常勤 |
| 4 パート・アルバイト・派遣 | 5 その他の職業 | 6 学生 |
| 7 家事専業 | 8 無職 | |

付問1 問4で「1～6」のいずれかを回答された方におたずねします。
あなたの主な勤務地(通学地)はどちらですか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1 自宅 | 2 今住んでいる市町 |
| 3 今住んでいる市町以外の県内の市町 | 4 県外 |

問5 あなたは、滋賀県で生まれてずっと滋賀県にお住まいですか。(○は1つだけ)

- | |
|--------------------------|
| 1 生まれてからずっと滋賀県に住んでいる |
| 2 滋賀県で生まれて、県外に転出後、再び転入した |
| 3 県外で生まれて滋賀県へ転入した |

付問1 問5で「2」または「3」と回答された方におたずねします。
滋賀県に転入後、何年ぐらいになりますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|--------|--------------|---------|
| 1 3年未満 | 2 3年以上～10年未満 | 3 10年以上 |
|--------|--------------|---------|

		1 満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば不満	5 不満	6 わからない
11	2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えた滋賀の文化の魅力発信やスポーツに親しむための環境づくり	1	2	3	4	5	6
12	災害リスクに備えた安全・安心を実現するための県土づくり（インフラ整備）	1	2	3	4	5	6
13	地域資源を活かした魅力的な仕事づくりや6次産業化(※1)の推進などによる力強い農林水産業、魅力ある農山漁村をつくるための取組	1	2	3	4	5	6
14	地域・拠点間の連携確保や誰もが利用しやすい道路空間づくり	1	2	3	4	5	6
15	鉄道・バス等の利便性向上など公共交通を使いやすいまちづくり	1	2	3	4	5	6
16	安全で安心して暮らすための自治会など住民が中心となった防災や防犯対策の推進	1	2	3	4	5	6
17	在来魚介類の回復や生態系の保全・再生など琵琶湖流域の保全・再生に向けた取組	1	2	3	4	5	6
18	「世界農業遺産」(※2)の認定に向けた取組など、琵琶湖と共生してきた滋賀の農林水産業を健全な姿で次世代に引き継ぐ施策	1	2	3	4	5	6
19	子育て世帯のための空き家リノベーション(※3)や公園・緑地の整備などゆとりある生活環境づくり	1	2	3	4	5	6
20	全ての人々がひとの絆と支え合いで安心して生活し、居場所と出番を持つことができる地域づくり	1	2	3	4	5	6

※1 6次産業化：1次産業とこれに関連する第2次、第3次産業に係る事業の融合により雇用と所得を生み出すこと。

※2 世界農業遺産：伝統的な農業・農法を核として、生物多様性、優れた景観等が一体となって保全・活用されている世界的に重要な農業システムを、国連食糧農業機関（FAO）が認定するもの。概ね2年に1回、認定が行われている。

※3 空き家リノベーション：使用されなくなった住宅を新たな使用のために改修すること。

問9 あなたが、いま県の施策で力を入れてほしいと思うことはどんなことですか。

前問の内容を参考に、**1～20**の中から選んでください。（○は**3つまで**）

1	結婚・出産・子育てまでの切れ目のない支援や社会全体で子どもを安全・安心に生み育てることができる環境づくり
2	子どもの育ちを支える滋賀ならではの教育環境づくり
3	琵琶湖の経験を活かした産学官民連携による滋賀の水環境ビジネスの推進
4	次世代の雇用につながる新たな産業の創出
5	滋賀の産業を支える人材の育成や滋賀で働く優秀な人材確保の取組
6	若者、女性、中高年者、障害者が滋賀で働き、活躍できるための取組

- 7 豊かな自然など滋賀の魅力ある暮らしぶりを県外に広くPRするなどの移住施策
- 8 ビワイチをはじめとする観光施策や首都圏での情報発信など滋賀の魅力の向上のための施策
- 9 高齢者に地域の担い手として活躍してもらうための取組や健康長寿を実現するための取組
- 10 再生可能エネルギーの活用など新しいエネルギー社会づくりや低炭素社会への転換
- 11 2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えた滋賀の文化の魅力発信やスポーツに親しむための環境づくり
- 12 災害リスクに備えた安全・安心を実現するための県土づくり（インフラ整備）
- 13 地域資源を活かした魅力的な仕事づくりや6次産業化の推進などによる力強い農林水産業、魅力ある農山漁村をつくるための取組
- 14 地域・拠点間の連携確保や誰もが利用しやすい道路空間づくり
- 15 鉄道・バス等の利便性向上など公共交通を使いやすいまちづくり
- 16 安全で安心して暮らすための自治会など住民が中心となった防災や防犯対策の推進
- 17 在来魚介類の回復や生態系の保全・再生など琵琶湖流域の保全・再生に向けた取組
- 18 「世界農業遺産」の認定に向けた取組など、琵琶湖と共生してきた滋賀の農林水産業を健全な姿で次世代に引き継ぐ施策
- 19 子育て世帯のための空き家リノベーションや公園・緑地の整備などゆとりある生活環境づくり
- 20 全ての人がひとの絆と支え合いで安心して生活し、居場所と出番を持つことができる地域づくり

問10 あなたは、将来に対して夢や希望を抱いていますか。（○は1つだけ）

- 1 抱いている 2 少し抱いている 3 あまり抱いていない 4 抱いていない

問11 あなたは、「豊かさ」を実感できていますか。あなた自身の気持ちに最も近いものを選んでください。（○は1つだけ）

- 1 豊かであると感じている 2 どちらかという豊かであると感じている
 3 あまり豊かでないと感じている 4 豊かでないと感じている

問12 あなたが豊かさを実感するうえで大切なものはなんですか。（○は3つまで）

- | | | |
|-------------|---------------|-----------|
| 1 健康 | 2 個人の時間 | 3 家計のゆとり |
| 4 社会参加 | 5 全ての人の活躍できる場 | 6 移動のしやすさ |
| 7 住みやすさ | 8 仕事のやりがい | 9 災害に強いこと |
| 10 子育て・教育環境 | 11 若者の活躍できる場 | 12 自然環境 |
| 13 食生活 | 14 就業や収入 | 15 文化 |
| 16 スポーツ | 17 余暇 | |

2 県の広報・広聴活動についておたずねします。

問 13 県では様々な機会を通じて、県民の皆さまのご意見等をお聴きしようと努めています。県民の皆さまのご意見やご提案などをお聴きするために、さらにどのような場の提供や取り組みを進めるべきと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 インターネット・手紙・FAXなどによる意見等の募集 (実施しているもの：知事への手紙など)
- 2 知事や県職員が県民の皆さんと直接対話を行う機会の提供
(実施しているもの：「こんにちは！三日月です」など)
- 3 条例案や計画案などに対する意見等の募集 (実施しているもの：県民政策コメント制度など)
- 4 郵送やインターネットによるアンケート調査の実施 (実施しているもの：滋賀県政世論調査など)
- 5 審議会や委員会等の委員の公募
- 6 県民相談の実施
- 7 その他 (具体的に)

問 14 あなたは、県の動きや県が行っている施策、事業、お知らせなどの情報を何から得ることが多いですか。(〇は3つまで)

- 1 新聞
- 2 テレビ
- 3 ラジオ
- 4 広報誌「滋賀プラスワン」
- 5 ポスター・チラシ・パンフレット
- 6 滋賀県公式ホームページ
- 7 滋賀県公式ツイッター
- 8 滋賀県公式フェイスブック
- 9 知人・友人の話

あと少しです。
そのままご回答をお
願います！



滋賀県の
イメージキャラクター
キャッピー

問 15 あなたは、下にあげる県の広報を読んだり、見たり、聴いたりしたことがありますか。1～14のそれぞれの項目について、右の欄の1～5の中から当てはまるものを選んでください。

(○はそれぞれ1つずつ)

		1 いつも かかさず読 んだり、見 たり、聴い たりしてい る	2 読んだ り、見たり、 聴いたりし ている	3 あまり読 んだり、見 たり、聴い たりしない	4 知ってい るが、読ん だり、見た り、聴いた りしたこと がない	5 知らない
1	広報誌「滋賀プラスワン」 (奇数月に発行・新聞折り込みで配布)	1	2	3	4	5
2	テレビ番組「テレビ滋賀プラスワン」 (びわ湖放送 土曜日 昼 12:00～12:20 再放送 日曜日 朝 8:30～8:50)	1	2	3	4	5
3	テレビ番組「しらしがテレビ」 (びわ湖放送 毎日 朝 6:50～6:55)	1	2	3	4	5
4	テレビ番組「しがのイチオシ!」 (びわ湖放送 金曜日 20:55～21:00)	1	2	3	4	5
5	滋賀県公式ホームページ	1	2	3	4	5
6	滋賀県公式ツイッター	1	2	3	4	5
7	滋賀県公式フェイスブック	1	2	3	4	5
8	滋賀県公式インスタグラム	1	2	3	4	5
9	ラジオ番組「滋賀プラスワンインフォメーション」 (FM 滋賀 第2・第4金曜日 17:20～17:25)	1	2	3	4	5
10	県議会広報紙「滋賀県議会だより」 (年5回発行・新聞折り込みで配布)	1	2	3	4	5
11	テレビ番組「県議会レポート」 「委員会活動レポート」 (びわ湖放送 年3回)	1	2	3	4	5
12	テレビ番組「県議会ダイジェスト」 (びわ湖放送 県議会質問日 22:00～22:55 県議会最終日 22:00～22:30)	1	2	3	4	5
13	県議会ホームページ	1	2	3	4	5
14	県議会インターネット中継	1	2	3	4	5

問 18 あなたは次のそれぞれの団体が「びわ湖の日」を休日にするについてどのように思いますか。
(○はそれぞれ1つずつ)

		1 賛成である	2 どちらかといえば賛成である	3 どちらかといえば反対である	4 反対である	5 わからない
1	行政機関（県庁や市役所・町役場）が休日になること	1	2	3	4	5
2	学校が休日になること	1	2	3	4	5
3	民間企業等が休日になること	1	2	3	4	5
「びわ湖の日」を休日とすることについて、あなたのお考えを自由にご記入ください。						

問 19 あなたは、日頃、環境保全行動(※)を行っていますか。 (○は1つだけ)

※環境保全行動…琵琶湖の清掃やヨシ刈り体験への参加、レジ袋をもらわないなど、環境の保全のために行われる行動のこと

1 積極的に行っている	2 できるだけ行っている
3 あまり行っていない	4 全く行っていない

問 20 「びわ湖の日」を中心に、「琵琶湖をきれいにしよう」「豊かな琵琶湖を取り戻そう」「琵琶湖にもっと関わろう」の3つの事項について呼びかけを行っています。あなたはどのような活動や取組に関心がありますか。 (○は3つまで)

1 琵琶湖に関するフォーラム等への参加
2 琵琶湖博物館等の環境についての施設訪問
3 琵琶湖や河川、道路等における美化活動
4 外来魚釣りによる生態系保全
5 稚魚の放流などによる在来種の保全活動
6 水草やオオバナミズキンバイ等の除去作業
7 ヨシ帯の保全に関わる活動
8 棚田や里山保全に関わる活動
9 間伐など森林保全に関わる活動
10 漁業体験や湖魚を使った料理の購入や食事
11 水泳やカヌーなどの琵琶湖レジャーの体験
12 昆虫・鳥・植物等の観察や自然体験
13 昔の生活様式や地域の伝統文化の学習
14 地産地消の推進や環境負荷の少ない商品の購入
15 省エネやリサイクル推進など環境にやさしい暮らし
16 関心がない
17 その他（具体的に _____)

4 高齢期の生活・活動と介護についておたずねします。

問 21 あなたは、高齢期にどのような活動に取り組みたいですか。現在高齢期の方は、今後取り組みたい活動をお答えください。(○は3つまで)

- 1 仕事
- 2 学習活動
- 3 趣味・娯楽の活動（旅行、自家菜園等を含む）
- 4 スポーツ・健康・レクリエーションの活動
- 5 高齢者や障害者等への援助・介助の活動
- 6 保育・教育の活動（子ども会、共同保育等）
- 7 生活環境にかかわる活動（防火・防犯、まちづくり、交通安全運動、環境美化等）
- 8 消費生活に関する活動（資源リサイクル、商品の共同購入、不用品の交換等）
- 9 地域行事や自治活動（町内会活動や神社の祭り等を含む）
- 10 その他の活動（具体的に)
- 11 活動はしたくない

問 22 あなたは、家族の介護をしたことがありますか（現在介護をしている場合を含む）。(○は1つだけ)

- 1 自分が主になり、同居の家族の介護をしたことがある
- 2 自分が主になり、別居の家族の介護をしたことがある
- 3 自分は補助的に、同居の家族の介護をしたことがある
- 4 自分は補助的に、別居の家族の介護をしたことがある
- 5 介護をしたことがない

問 23 あなたは、家族を介護する場合に、どのような支援制度が充実すればよいと思いますか。(○は3つまで)

- 1 認知症の人が利用できるサービス
- 2 24時間対応の在宅サービス
- 3 施設待機解消のための施設整備
- 4 配食や送迎、見守り介護などの生活支援サービスの充実
- 5 保険料や利用料の軽減
- 6 医療や介護サービス利用にかかる統一的な相談窓口の設置、相談体制の強化
- 7 要介護認定など利用者の手続きの簡素化
- 8 住宅のバリアフリー化
- 9 介護従事者による、たんの吸引など基礎的な医療的なケアの実施
- 10 生活動作の改善や栄養改善などの介護予防サービスの充実
- 11 その他（具体的に)
- 12 特にない
- 13 わからない

問 24 次の認知症に関する相談機関や制度のうち、あなたが知っているものをすべて選んでください。
(○はいくつでも)

- 1 市町の高齢者（障害者）の相談窓口
- 2 市町の地域包括支援センター
- 3 認知症相談医
- 4 病院（神経内科や脳神経外科、精神科など）
- 5 認知症の人と家族の会滋賀県支部「もの忘れ介護相談室」
- 6 認知症の専門相談機関
- 7 認知症の専門医療機関
- 8 認知症疾患医療センター
- 9 その他（具体的に)

問 25 今後、認知症施策について、充実してほしいことは何ですか。(○は3つまで)

- 1 認知症予防対策の取組（予防教室、体操やサロンなどの通いの場づくりなど）
- 2 認知症を早期に発見するため、近くの診療所の医師に対する研修
- 3 認知症の人を初期から支援できる、医療や介護の専門職によるチーム体制の充実
- 4 認知症についての講演会など県民に対する啓発
- 5 認知症の相談窓口や診断ができる医療機関の周知
- 6 地域で認知症の人を支えるための介護サービスや人材の育成
- 7 若年認知症(※1)の相談や支援体制の充実
- 8 成年後見制度(※2)や虐待の防止などの制度の充実
- 9 その他（具体的に)

※1 若年認知症：65歳未満で発症する認知症

※2 成年後見制度：判断力が低下した人に代わって、自己決定権や財産などを保護するもの

↑この線で三つ折りして
返信用封筒に入れてください

↑この線で三つ折りして
返信用封筒に入れてください

ご協力ありがとうございました。
三つ折りにして、同封の返信用封筒
に入れて、6月20日（火）まで
にご返送ください。

↑この線で三つ折りして
返信用封筒に入れてください

↑この線で三つ折りして
返信用封筒に入れてください



滋賀県の
イメージキャラクター
うおーたん